

服薬チェックリストの活用について



松山薬剤師会
合志 英美

本日の内容

1: 服薬チェックリストの使用目的

2: 各チェック項目について

3: 最後に

本日の内容

1: 服薬チェックリストの使用目的

2: チェック項目について

3: 最後に

服薬チェックリストの使用目的

服薬等の問題点に早めに気づき、医師や薬剤師等に繋げることで問題に早期に取り組み、解決することで利用者様の心身機能を維持しつつ、利用者様が希望する場所で生活を続けられるようにするため。



本日の内容

1:服薬チェックリストの使用目的

2:チェック項目についての解説

3:最後に

口腔・服薬チェックリスト

令和〇年〇月〇日

事業所名	訪問介護〇〇〇〇	事業所名	居宅介護支援事業所〇〇〇〇
担当者名	管理者 〇〇 〇〇	担当者名	介護支援専門員 〇〇 〇〇 様
T E L	9〇〇-〇〇〇〇	T E L	9〇〇-〇〇〇〇
F A X	9〇〇-〇〇〇〇	F A X	9〇〇-〇〇〇〇
E-mail	kouku@※※※※.ne.jp	E-mail	fukuyaku@※※※※.ne.jp

●利用者情報

フリガナ	△△ △△	生年	明治・大正・昭和・平成 〇〇年 〇月 〇日 (〇〇歳)	性別	<input checked="" type="checkbox"/> 男・ <input type="checkbox"/> 女
氏名	△△ △△	住所	松山市〇〇町〇丁目〇-〇		
TEL	9 〇〇-〇〇〇〇				
介護保険	<input type="checkbox"/> 未申請(申請予定) <input type="checkbox"/> 申請中 <input type="checkbox"/> 事業対象者 <input type="checkbox"/> 要支援1 <input type="checkbox"/> 要支援2 <input checked="" type="checkbox"/> 要介護1 <input type="checkbox"/> 要介護2 <input type="checkbox"/> 要介護3 <input type="checkbox"/> 要介護4 <input type="checkbox"/> 要介護5				

上記の利用者様の口腔、服薬の状況について報告します。

口腔チェックリスト	<input type="checkbox"/> 口の中が乾燥している <input checked="" type="checkbox"/> 歯が汚れている <input type="checkbox"/> 舌に汚れ(舌苔)がある <input checked="" type="checkbox"/> 口臭がある <input type="checkbox"/> 歯が痛む、グラグラしている、穴が開いている <input checked="" type="checkbox"/> 歯茎に問題がある(腫れている、出血がある、傷がある、痛みがある等) <input type="checkbox"/> 義歯に問題がある(外れる、壊れている、汚れている、使っていない、付けると痛む等) <input type="checkbox"/> 飲み込みが悪い、むせる <input type="checkbox"/> (麻痺がある場合) 麻痺側に食べ物が残っている <input checked="" type="checkbox"/> その他(歯医者には10年以上行っていないとの事です。)
●月 ●日実施	
(気になる点) 今月初めくらいから、歯茎からの出血があり、歯磨きの際に痛みが出る状況で、食後の歯磨きが充分にできておらず、口臭や歯の汚れが目立ってきています。	

服薬チェックリスト	<input type="checkbox"/> 薬の飲み忘れがある(残薬がある) <input type="checkbox"/> 薬の飲み間違いがある(服薬の量や時間を間違えている等) <input checked="" type="checkbox"/> 飲み難さがある(錠剤、カプセル、粉薬が飲み込めない等) <input checked="" type="checkbox"/> 複数の医療機関を受診し、複数の薬局から調剤を受けている <input type="checkbox"/> 自己判断で服薬の中断や調整をしている <input type="checkbox"/> 健康食品やサプリメント等を服用している <input type="checkbox"/> 副作用またはその疑い(口渇、吐気、頻尿、便秘、軟便、ふらつき、めまい、傾眠、睡眠障害、その他) <input checked="" type="checkbox"/> その他(「心配だから」という理由で、古い薬を大量にストックしています。)
●月 ●日実施	
(気になる点) 最近、A病院から処方されている〇〇剤(顆粒)が飲み込み難く、毎食後の服用に苦労している様子です。B病院の△△剤(錠剤、朝夕)と◇◇剤(錠剤、朝夕)は、問題なく服用できています。たまたま服薬を忘れていたこともありますが、声掛けて服薬を確認しています。	

服薬チェックリストの内容

- 1: 薬の飲み忘れがある(残薬がある)
- 2: 薬の飲み間違いがある
(服薬の量や時間を間違えてる等)
- 3: 飲みずらさがある
(錠剤、カプセル、粉薬が飲み込めない等)
- 4: 複数の医療機関を受診し、複数の調剤薬局から調剤を受けている
- 5: 自己判断で服薬の中断や調整をしている
- 6: 健康食品やサプリメント等を服用している
- 7: 副作用またはその疑い
(口渇・吐き気・頻尿・便秘・軟便・ふらつき・めまい・傾眠・睡眠障害・その他)
- 8: その他

1:薬の飲み忘れ(残薬)がある

* 併用してる薬が多く、整理がつかない

* 認知機能の低下で薬を服用していること自体わからなくなってしまう

* 生活スタイルと合わずに飲めない

など...



たくさん残って
るけど...

飲めてないなん
て言えない!

変わりません
薬は飲んでます



体調はお変わりな
いですか？
薬は飲めてます？

高血圧
糖尿病
治療中の患者様



血糖値も高いままだし、血圧もなかなか
下がらない。
でも薬飲んでるって言うてるし
薬変更するか、追加・増量するかな...

個人の能力に合わせた薬管理用具



服薬カレンダー



用法毎に管理



ケアボットHPより



薬の効果で一部管理



日めくりカレンダーでの管理
(鹿児島県薬剤師考案)



ミヤサカ工業HPより

殘藥



残薬は日本全体で**1000億円以上**！？

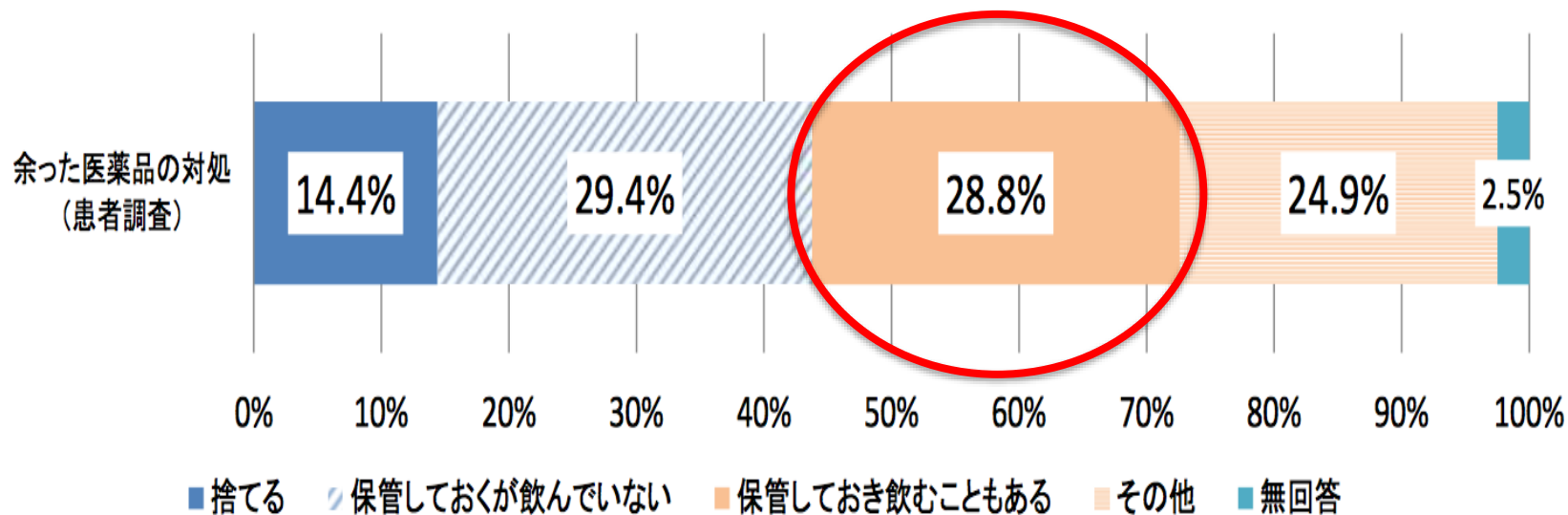


何かの時に使える
かなと思って保管
してます



残った薬はどうしてま
すか？

〇余った医薬品はどうしているか？(患者調査N=1,927)

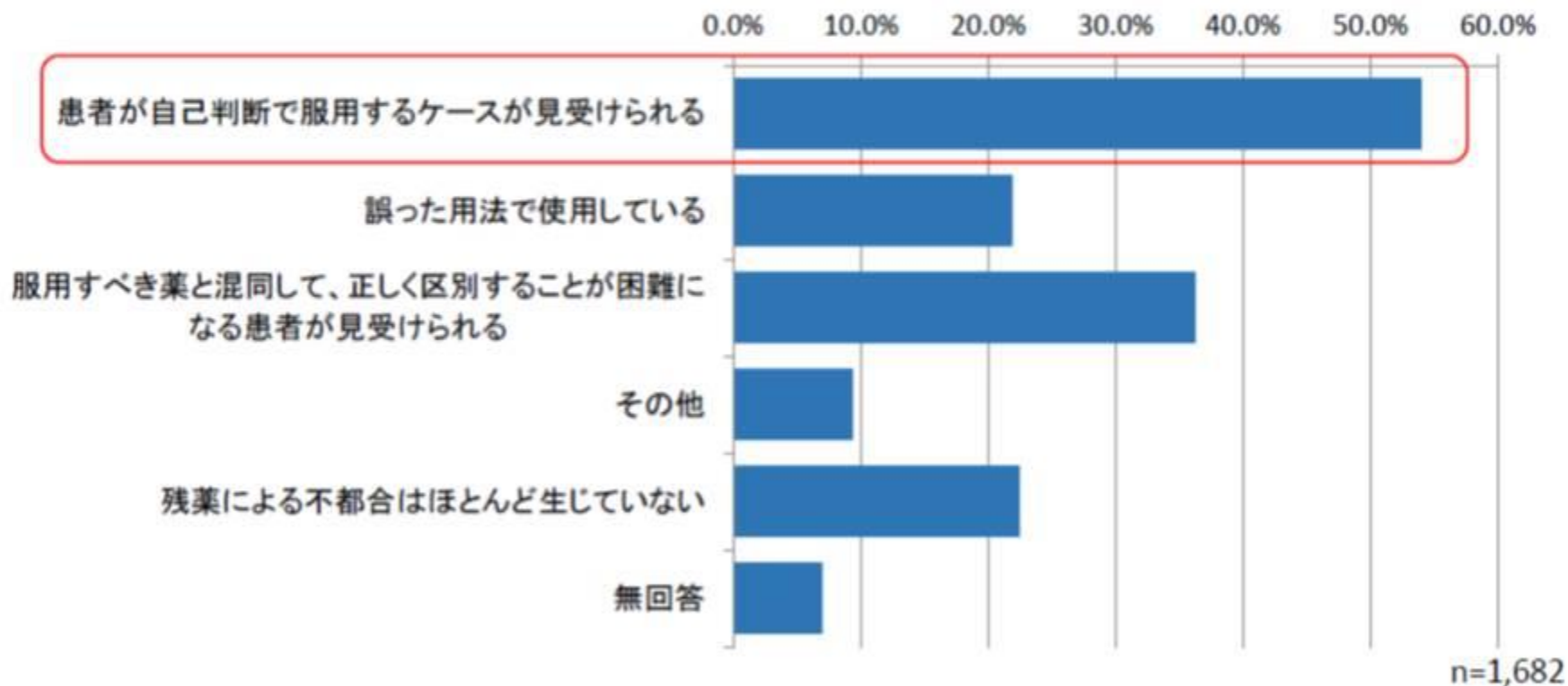


残薬発生による問題等

残薬により、患者が自己判断で服用するケースが最も多く見受けられる。

※薬局調査

➤ 残薬により生じた患者の問題(※複数回答)



残薬の問題点

①国の医療費の増加

→将来的に医療・介護制度の崩壊

②残薬と必要な薬を混同し、 正しい薬物治療が行われない

→疾病治療の妨害

③残薬の薬効を勘違いし、服用してしまう

④薬の量を自己調節をしてしまう

→誤服用による健康被害や副作用発現

2: 薬の飲み間違いがある

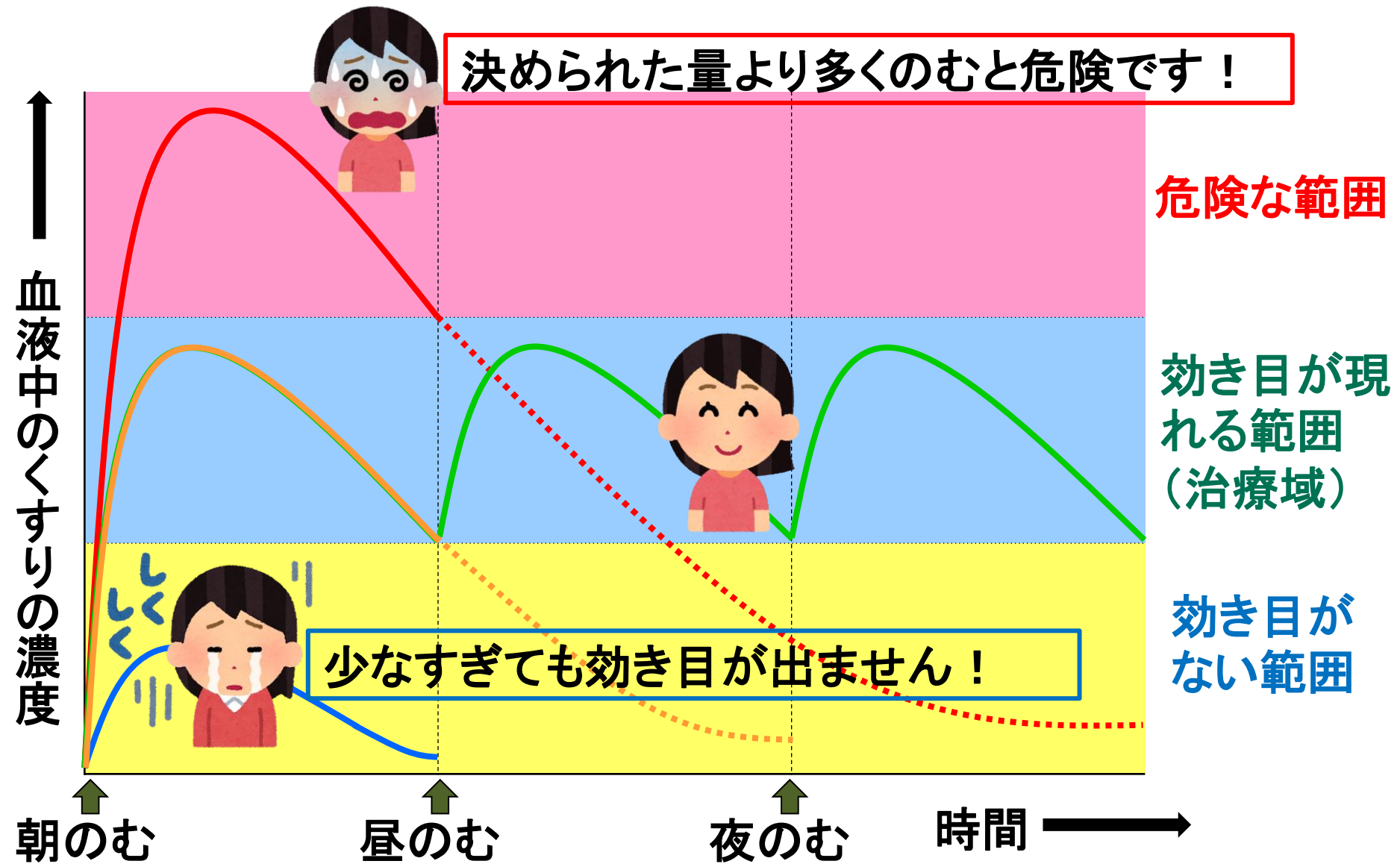
飲み間違いのよくあるパターン

例1: 起きる時間が遅く、朝の薬が飲めない

例2: 朝と昼の薬を一緒に飲んでる

例3: 食直前、食前薬を食後に飲んでるなど

正しい飲み方と悪い飲み方（血中濃度に注目）



3: 飲みづらさがある

飲みにくいから、カプセルの中身だけ
飲もうかな？
錠剤大きいから潰してしまおうか
噛み砕いて内服しようか

ちょっと待った！！



薬剤師

錠剤の構造と粉砕

徐放錠

→薬効成分がゆっくりと溶けるように設計されていて、効果が長時間持続する。



徐放カプセル

→徐放カプセルはすぐに溶ける薬の粒子、遅く溶ける粒子があり効果が長時間持続する



腸溶錠

→胃酸に強い成分で主成分をコーティングして腸で溶けるように設計したもの。



糖衣錠

→裸錠の周りを砂糖で包んだ錠剤です。砂糖で覆うことにより、苦味をマスクします。



※このほかにも様々な構造の薬剤が存在します

さまざまな薬の形

ドネペジル塩酸塩錠

錠剤



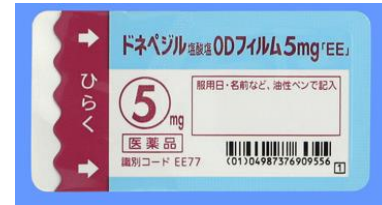
細粒



OD錠



ODフィルム



ドライシロップ



錠剤



OD錠



ゼリー剤



ODフィルム



簡易懸濁法

カプセルや錠剤をそのまま55°C(水1:ポットの湯2)に溶かして内服する方法

方法その1



薬を容器に入れる



お湯(約55°C)で
10分ほど放置



シリンジで吸って
チューブから注入

方法その2



薬をシリンジに入れる



お湯(約55°C)を
シリンジに吸う



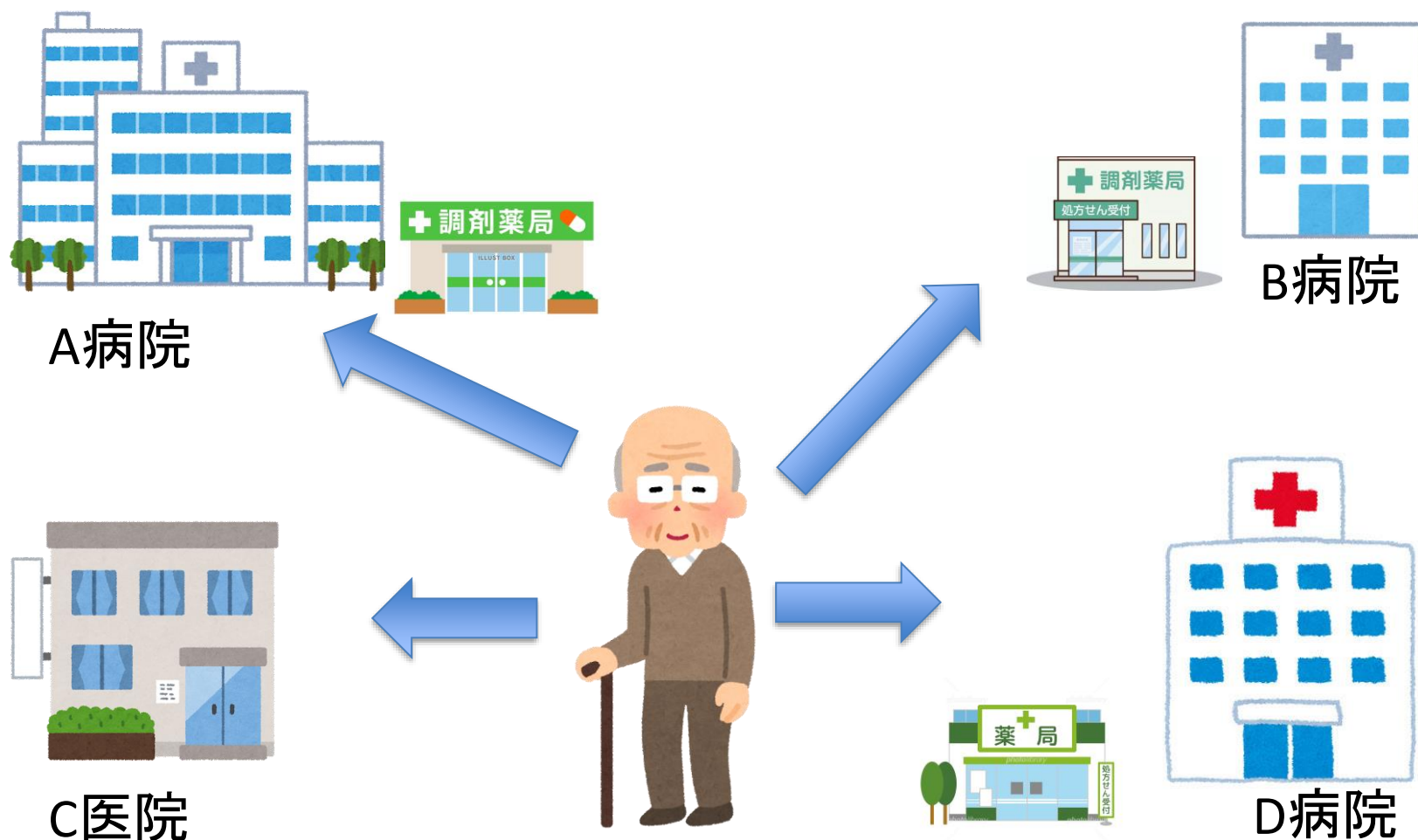
シリンジを振って
混ぜて注入

Kunieda K, et al. A Safe Way to Administer Drugs Through a Nutrition Tube-
The Simple Suspension Method. Dysphagia. 2021 Mar 14.

嚥下が低下している方なら、薬を溶かしたものとろみ剤を使用するといと思います

注:簡易懸濁には適さない薬剤もあるため確認は必要です。

4: 複数の医療機関を受診し、複数の調剤薬局から調剤を受けている



お薬手帳の確認を



鉄則

- ・1人1冊
- ・病院ごとに分けない
- ・受診時に持っていく

5: 自己判断で服薬の中断や調整 をしている



前回診察で血圧はいいですね。と言われたから、高血圧は治ったね。もう薬は飲まなくていいでしょう。

ちょ、
ちょっと待った！！



薬剤師

6: 健康食品やサプリメント等を服用している



薬と相互作用のあるサプリメント・健康食品の例

健康食品に添加されてる成分	医薬品成分	影響
青汁・クロレラなど (ビタミンK含有)	ワルファリン	薬の効果減弱
カルシウム	活性型ビタミンD3製剤	腸管からのカルシウム吸収促進
カルシウム マグネシウム 鉄	テトラサイクリン系抗菌剤 ニューキノロン系抗菌剤 ビスホスホネート系製剤	薬効の減弱
ナイアシン	HMG -COA還元酵素阻害薬 (高コレステロール治療薬)	副作用の増強 (急激な腎機能低下を伴う横紋筋融解症)
ビタミンC	ダイアモックス	腎・尿路結石の恐れ
コエンザイムQ10	降圧剤、糖尿病治療薬	薬効の増強

薬と注意すべき飲食物・嗜好品の例

降圧薬
一部のカルシウム拮抗薬

+



グレープフルーツ
ジュース

抗結核薬

+



マグロ (ヒスチジン)
チーズ (チラミン)

総合感冒薬など

+



コーヒー・コーラ

ワルファリン
血液サラサラ薬

+



納豆や青汁
(ビタミンK多く含む)

睡眠薬

+



アルコール

抗菌薬・抗生物質

+



牛乳・ヨーグルト

胃薬

+



炭酸飲料

免疫抑制剤・
強心剤など

+



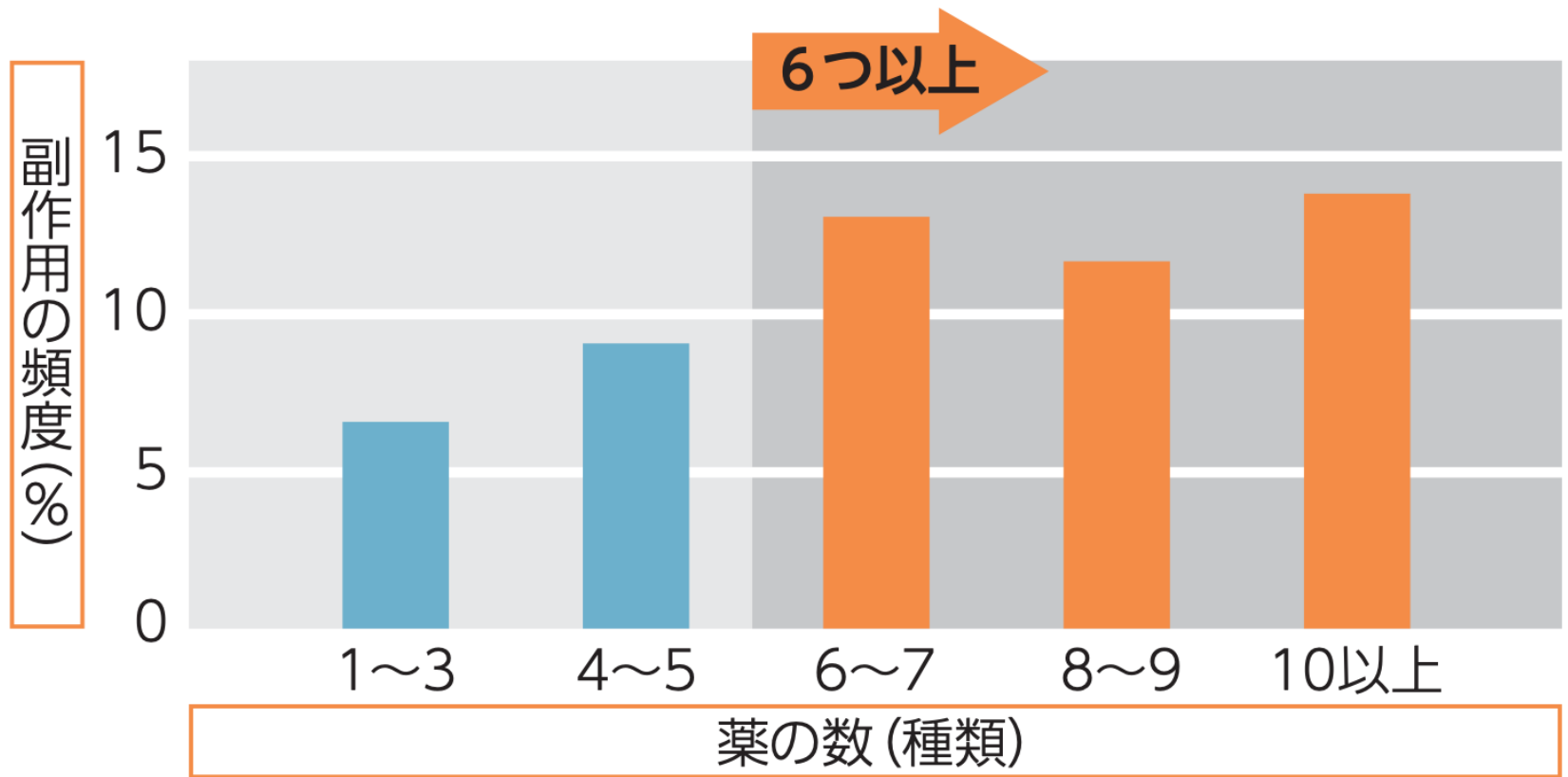
セントジョーンズワート
(セイヨウオトギリソウ)

7: 副作用またはその疑い



ポリファーマシー

薬の数と副作用の頻度との関係



Kojima T. Akishita M, et al. Geriatr Gerontol Int. 2012

6種類以上の薬の内服で副作用の頻度が高くなる！！

6種類以上内服している方の4割が転倒やふらつきの副作用がでるとい報告も

8: その他(例えば)

- 心配だからという理由で、古い薬を大量にストックしてないか？
- 同居人の薬を服用してたり、同居人にお薬を服用させたりしてないか？
- 薬の保管場所は適切か？

本日の内容

1: チェックリストの使用目的

2: チェック項目についての解説

3: 最後に

訪問薬剤（居宅療養）管理指導開始に至る4つのパターン

A: 医師の指示型

医師・歯科医師からの指示

B: 薬局提案型

薬局窓口で薬剤師が疑問視

C: 介護支援専門員提案型

介護支援専門員から薬局への相談

D: 他機種提案型

看護師・訪問看護師等多くの医療・介護職、そして家族からの相談

情報の共有&問題点を相互認識

薬剤師が訪問
訪問の意義・目的説明



薬剤師が訪問して状況把握
薬剤師介入の必要性があると判断⇒患者に訪問の意義・目的説明
【ずっと訪問することだけをイメージせず、計画性を持って期間限定で訪問することも一考】

医師・歯科医師に情報提供
⇒訪問の必要性報告⇒訪問指示を出してもらう



患者同意を得て、訪問薬剤管理指導（居宅療養管理指導）開始

地域包括ケアシステム

- 団塊の世代が75歳以上となる2025年を目途に、重度な要介護状態となっても住み慣れた地域で自分らしい暮らしを人生の最後まで続けることができるよう、**住まい・医療・介護・予防・生活支援が一体的に提供される地域包括ケアシステムの構築を実現**していきます。
- 今後、認知症高齢者の増加が見込まれることから、認知症高齢者の地域での生活を支えるためにも、地域包括ケアシステムの構築が重要です。
- 人口が横ばいで75歳以上人口が急増する大都市部、75歳以上人口の増加は緩やかだが人口は減少する町村部等、**高齢化の進展状況には大きな地域差**が生じています。

地域包括ケアシステムは、**保険者である市町村や都道府県が、地域の自主性や主体性に基づき、地域の特性に応じて作り上げていく**ことが必要です。

地域包括ケアシステムの姿

